

さとぷろ。通信

「さとぷろ。」とは、安曇野市里山再生計画に関する活動の愛称です

安曇野環境フェア 2015 に出展しました！

10月10日(木)・11日(日)
安曇野市堀金総合体育館

安曇野環境フェア2015、屋内の企画展「里山保全」でブース出展を行いました。ヒノキやスギなど7種類の原木(丸太)と角材、葉っぱを展示して写真を見ながら樹種を当てるクイズと、アカマツの巨木の樹齢当てクイズ、動物のあしがたとりワークショップを行いました。里山再生サポーターさんが2日間でのべ10名、スタッフとして活躍してくださり、交流も深めることが出来ました。



樹齢あてクイズ



動物のあしがたとりワークショップ

「樹種によって重さが違うね」「年輪を一生懸命数えたよ」「あしがた面白い!」という声が聞こえてきました。

また屋外では、まき割り機でのまき割り体験会、内川林業のまきの販売、パレットストープ5台の展示を行いました。めったに見ることのできないまき割り機、スタッフの補助で気軽に体験できました。「いつも斧で割っているけど、楽でいいね」「すごいパワー!」とい

う驚きの声と「いくらするの?」「重さは?」という具体的な相談まで発展していました。「毎日使うものじゃないから、みんなで共同購入したいね」というアイデアも…。



まき割り機体験

2日目には明北小学校6年生が書いてくれた「昔の里山の風景」の絵(授業では同じ話を聞いたはずなのに、ひとりひとり全部違う、素敵な里山が描かれています)を見ながら「内川さんのお話を聞く会」を開催。今と昔の里山の違い、暮らしに密着していた里山、化石燃料に頼らない人力での作業や運搬の様子、クヌギ林の使い方やサイクルについて、お話を聞きました。昔に戻ることはできないけれど、新しい里山の使い方を考えていきたいですね。「さとぷろ。」について、多くの方に知っていただく2日間となりました。



内川さんのお話を聞く会

堀金中学校の学有林で、ヒノキの枝打ち

10月21日(水) 9:00~14:00
五蛇沢学有林(堀金烏川)

秋晴れの五蛇沢学有林で、安曇野市立堀金中学校の1学年がヒノキの枝打ちに挑戦しました。16日の事前学習会で、「森林の機能や役割、整備の必要性」などを学び、枝打ちが学有林に与える効果を期待しての作業です。地面近くまで枝が伸び広がり、太陽の光が地表に届かないため草も生えていない林。一人ずつ腰にノコギリを下げ、一本ずつ木を担当、地面から手の届く高さまでの枝を伐りました。最初はおっかなびっくりの作業でしたが、次第にノコギリにも慣れ、すぐに成果が出て楽しくなり、次々と取り組んでいきました。114人の力はすごい! あっという間に「暗い森が明るい森」にかわり、太陽の光が届きます。午後は、森林組合のプロによる伐倒作業を見学して、技術のすごさと迫りに圧倒されました。



生徒たちの感想は、「はじめはケガしないか心配だったけど、意外と楽しく作業できた」「暗い森が明るくなって嬉しい」「将来は森林組合に入る!」など、作業をやって良かったというものでした。貴重な体験でしたね。



5つのプロジェクトが動き出しています



さとぷろ。では、5つのプロジェクトを推進していきます。現在、プロジェクト発足にむけ、里山再生計画推進委員のみなさまを中心に、準備会を進めています。全体で情報共有する会を10月28日に実施。何をどう進めるかのロードマップを作成しています（下記参照）。それぞれのプロジェクトへ「考える段階」から参加いただける方も募集しています。お気軽に、ご参加くださいね。



プロジェクト立ち上げ準備会

●木質バイオマス利用促進プロジェクト

フィールド確保
技術指導

フィールド

- 市有林
- サポーター提供林

新会員・サポーターと薪づくり、提供

しいたけ原木づくり
→コマ打ち

楽しく！

●安曇野材利用促進プロジェクト

プロ用・一般用の分かれて商品開発

プロと製品検討 → 丸太原木見学 → 乾燥・製材 → 展示・販売

クラフト作家・一般消費者むけ商品開発 → 販売ルートづくり

●松枯れ対策実践プロジェクト

更新伐（市事業）前後の地域づくり・森林整備

松枯れについての啓発

松枯れ被害材製品開発

販売・流通ルートづくり

松枯れ材イベント・商談会

●里山学校プロジェクト

4月開校にむけ、準備会を重ねていきます

フィールド見学

- 啼鳥山荘
- 天平の森 他

講座の組み立て検討

実施計画作成

広報4月開校！

●里山保全・体験学習プロジェクト

実施計画策定
次年度試行（5回）

テーマは？
安曇野らしく「水」

ターゲットは？

- ①市民
- ②市外（広く）
- ③市外（狭く）

開催形態は？

- ①日帰り型
- ②宿泊型
- ③サミット型

内容は？

- ①座学・祭り系
- ②体験ツアー系
- ③体験お土産つき



詳細については、事務局へお問い合わせください。ご参加お待ちしております！

里山の達人紹介 明北小学校6年生

明北小学校6年生（担任 水木勝俊先生）は、4年生の時から「松枯れ」に注目し、被害材を使ったアカゲラの巣箱を作り、継続して観察しながら、地域のことを学んできました。5年生の時には、「松枯れをなくす」から「被害材を使う」にシフト、いろいろな使い道を考えました。

6年生になり、6月には遊び場でもある「かんだち山」にウッドデッキを作り、9月には学校近くのバス停にメッセージを書いた壁材を貼り、ベンチを設置しました。



6月27日 完成したウッドデッキで記念撮影

環境フェアでは、内川さんのお話を聞いて描いた「昔の里山の風景」を出展、ステージでは環境活動発表を行いました。水木先生は「明科を語る子ども達に育ち、明科を大好きになってほしい」とおっしゃっています。まさに「さとぷろ。」の実践ですね！



を語る子ども達に育ち、明科を大好きになってほしい」とおっしゃっています。まさに「さとぷろ。」の実践ですね！

事務局からお知らせ

●里山学園祭 in アルプスあづみの公園

（堀金・穂高地区）クラフトゲート匠の杜
 ≪主催≫里山学園祭実行委員会
 ≪会場・協力≫国営アルプスあづみの公園
 ≪日程≫11月22日(日)11:00~15:00
 ≪出展≫クラフトゲート匠の杜・さとぷろ。・再活の松プロジェクト ほか
 ≪内容≫クラフト工房・天蚕工房・どんぐりの森づくり・松枯れ材を使った木工教室・ぬかくどおにぎり・ペレットストーブの展示 ほか
 ※公園入園料・一部体験料が必要
 お問い合わせ：堀金・穂高公園管理センター
 0263-71-5511（担当：須之部）

●烏川溪谷緑地「森林エリア探鳥会」

≪講師≫丸山隆氏（信州野鳥の会）
 ≪日時≫11月28日9:00~12:00
 （8:30受付開始）
 ≪集合≫烏川溪谷緑地森林エリア駐車場
 ≪持ち物≫双眼鏡・図鑑（貸し出しあり）・雨具・飲み物 など
 ≪参加費≫無料 雨天時は内容変更あり
 ≪定員≫25名 ※要申し込み（先着順）
 お問い合わせ：烏川溪谷緑地環境管理事務所
 0263-73-0203 karasu@anc-tv.ne.jp

≪発行・お問い合わせ≫

安曇野市 農林部 耕地林務課 林務担当 里山再生計画推進協議会事務局

〒399-8281 安曇野市豊科 6000 番地

電話：0263-71-2432（直通） FAX：0263-71-2507

E-mail：kouchirinmu@city.azumino.nagano.jp



庁舎の2階、北側の16番です。お気軽にお越しください！